



2022年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月31日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL <https://www.nabtesco.com>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 木村 和正
 問合せ先責任者（役職名） コーポレート・コミュニケーション部長（氏名） 峯岸 康（TEL）03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家・アナリスト向け）

（表示単位未満四捨五入）

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	218,932	2.2	11,484	△44.8	16,892	△83.4	12,003	△81.7	10,622	△83.2	23,928	△65.5
2021年12月期第3四半期	214,117	7.2	20,808	10.5	101,743	390.6	65,435	341.6	63,078	384.4	69,438	403.9
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
2022年12月期第3四半期	88.52		88.51		88.51		88.51		88.51		88.51	
2021年12月期第3四半期	518.71		518.61		518.61		518.61		518.61		518.61	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	414,545	266,690	251,950	60.8
2021年12月期	481,718	254,995	239,910	49.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	38.00	—	39.00	77.00
2022年12月期	—	39.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	308,000	2.7	21,000	△30.0	30,600	△70.0	20,500	△68.4	170.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

上記の連結業績予想における「税引前利益」及び「親会社の所有者に帰属する当期利益」の対前年同期増減率が大幅に変動しているのは、前期（2021年12月期）に株式会社ハーモニック・ドライブ・システムの持分法適用除外に伴う評価益等を計上したことによります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年12月期3Q	121,064,099株	2021年12月期	121,064,099株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	1,058,320株	2021年12月期	1,091,211株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年12月期3Q	119,995,369株	2021年12月期3Q	121,605,124株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
3. 補足情報	14
(1) セグメント別受注残高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、建設機械向け油圧機器において中国市場の需要低迷が継続したものの、精密減速機において産業用ロボット向けの高い需要により、売上高は218,932百万円となりました。営業利益については、主にコンポーネントソリューション事業における原材料価格及び物流費高騰等の影響、油圧機器での中国市場における売上減少による減益に加え、アクセシビリティソリューション事業では、コロナ影響により海外プラットフォーム案件において工期延長等によるコスト増加が発生し、11,484百万円となりました。また、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ（以下、ハーモニック社という）の株式売却に伴う評価益等を計上したことにより、税引前四半期利益は16,892百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は10,622百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比31,590百万円（14.2%）増加し254,700百万円となりました。売上高は、同4,815百万円（2.2%）増加し218,932百万円となり、営業利益は、同9,324百万円（△44.8%）減少し11,484百万円となりました。売上高営業利益率は5.2%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	104,795	113,623	8.4
トランスポートソリューション事業	45,958	59,079	28.5
アクセシビリティソリューション事業	55,981	68,026	21.5
その他	16,375	13,972	△14.7
合計	223,110	254,700	14.2

【売上高】

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	100,198	101,520	1.3
トランスポートソリューション事業	47,869	48,360	1.0
アクセシビリティソリューション事業	52,913	57,159	8.0
その他	13,137	11,892	△9.5
合計	214,117	218,932	2.2

【営業利益】

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	16,703	11,290	△32.4
トランスポートソリューション事業	3,728	3,823	2.5
アクセシビリティソリューション事業	5,193	2,136	△58.9
その他	1,801	565	△68.6
全社又は消去	△6,617	△6,331	—
合計	20,808	11,484	△44.8

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比8,828百万円(8.4%)増加し113,623百万円となりました。売上高は、同1,322百万円(1.3%)増加し101,520百万円、営業利益は、同5,413百万円(△32.4%)減少し11,290百万円となりました。

精密減速機は、産業用ロボット向けで高い需要が継続したことに加え、半導体製造装置向けやEV製造設備関連でも高い需要があったことから、売上高は前年同期比で増加となりました。

建設機械向け油圧機器は、中国市場の需要低迷が継続したことに加え、第2四半期において上海市の都市封鎖(ロックダウン)により中国子会社の操業が一時停止したことにより、売上高は前年同期比で減少となりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比13,121百万円(28.5%)増加し59,079百万円となりました。売上高は、同492百万円(1.0%)増加し48,360百万円、営業利益は、同94百万円(2.5%)増加し3,823百万円となりました。

鉄道車両用機器は、MRO(Maintenance, Repair, Overhaul)は堅調に推移したものの、国内及び海外市場において新車向け需要が低迷し、売上高は前年同期比で減少となりました。

航空機器は、防衛省向けでの調達品納入遅延等の影響があったものの、民間航空機向けで需要が緩やかに回復し、売上高は前年同期並みとなりました。

商用車用機器は、顧客の生産調整による減産の影響を受けたものの、東南アジア市場の回復により、売上高は前年同期並みとなりました。

船用機器は、造船・海運市場が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比で増加となりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比12,045百万円(21.5%)増加し68,026百万円となりました。売上高は、同4,246百万円(8.0%)増加し57,159百万円、営業利益は、同3,057百万円(△58.9%)減少し2,136百万円となりました。

自動ドア事業は、国内・海外ともに堅調に推移したことに加え、円安効果もあり、売上高は前年同期比で増加となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比2,403百万円(△14.7%)減少し13,972百万円となりました。売上高は、同1,245百万円(△9.5%)減少し11,892百万円、営業利益は、同1,235百万円(△68.6%)減少し565百万円となりました。

包装機は、製品売上・MROともに電子部品等の調達品遅れが継続したことにより、売上高は前年同期比で減少となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	増減率(%)
日本	115,609	115,705	0.1
中国	42,956	36,970	△13.9
その他アジア	13,360	15,449	15.6
北米	11,522	15,558	35.0
ヨーロッパ	29,128	33,105	13.7
その他地域	1,543	2,144	39.0
合計	214,117	218,932	2.2

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

② 税引前四半期利益

金融収益は、主にハーモニック社株式の評価益1,437百万円（一部売却完了に伴う評価益4,872百万円、引続き保有する同社株式について当第3四半期連結会計期間末の株価で評価したことに伴う金融収益の減少△3,435百万円）、及び為替差益の発生等により3,369百万円となりました。金融費用は、157百万円となりました。持分法による投資利益は2,195百万円となりました。

その結果、税引前四半期利益は16,892百万円と前年同期比84,852百万円（△83.4%）の減益となりました。また、前年同期比減益となった主な要因は前年同期においてハーモニック社の持分法適用除外に伴う評価益（金融収益）125,107百万円を計上していたこと、及び同社の株価変動に伴う評価損（金融費用）が前年同期比44,519百万円減少したことによります。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用4,889百万円及び非支配持分に帰属する四半期利益1,381百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、10,622百万円と前年同期比52,456百万円（△83.2%）の減益となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は前年同期比430.19円減少し、88.52円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2022年9月30日)	増減額
資産	481,718	414,545	△67,173
負債	226,723	147,856	△78,868
資本	254,995	266,690	11,695

【資産】

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は210,906百万円、非流動資産は203,639百万円であり、その結果、資産合計は414,545百万円と前連結会計年度末比67,173百万円の減少となりました。主な増加要因は、棚卸資産の増加12,875百万円です。主な減少要因は、ハーモニック社株式の一部売却完了に伴う資産の減少72,990百万円（現金及び現金同等物 21,972百万円、売却目的で保有する資産44,519百万円、その他の金融資産（流動）6,499百万円）です。その他の減少要因は、営業債権の減少9,128百万円です。

【負債】

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は112,266百万円、非流動負債は35,590百万円であり、その結果、負債合計は147,856百万円と前連結会計年度末比78,868百万円の減少となりました。主な増加要因は、その他の債務の増加6,092百万円です。主な減少要因は、ハーモニック社株式の一部売却完了に伴うその他の金融負債の減少77,862百万円、及び未払法人所得税の減少18,381百万円です。

【資本】

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は266,690百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は251,950百万円と前連結会計年度末比12,039百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益10,622百万円による利益剰余金の増加、及び在外営業活動体の換算差額等によるその他の資本の構成要素の増加10,402百万円です。主な減少要因は、配当9,385百万円等による利益剰余金の減少です。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2022年12月期第3四半期連結累計期間の連結業績及び今後の動向等を踏まえ、2022年7月29日に公表しました2022年12月期通期の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、2022年10月31日発表の「2022年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2022年7月29日に公表しました連結業績予想との差異は以下のとおりです。

2022年12月期 連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	310,000	26,000	35,000	23,400	195	2
今回修正予想(B)	308,000	21,000	30,600	20,500	170	84
増減額(B-A)	△2,000	△5,000	△4,400	△2,900	—	—
増減率(%)	△0.6	△19.2	△12.6	△12.4	—	—

(セグメント情報)

① 売上高

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想(A)	145,000	71,700	74,100	19,200	—	310,000
今回修正予想(B)	143,000	71,700	74,100	19,200	—	308,000
増減額(B-A)	△2,000	—	—	—	—	△2,000
増減率(%)	△1.4	—	—	—	—	△0.6

② 営業利益

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想(A)	22,600	5,800	5,400	2,100	△9,900	26,000
今回修正予想(B)	18,100	5,800	4,900	1,800	△9,600	21,000
増減額(B-A)	△4,500	—	△500	△300	300	△5,000
増減率(%)	△19.9	—	△9.3	△14.3	—	△19.2

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		112,771	78,432
営業債権		74,957	65,829
契約資産		2,065	3,604
その他の債権		1,300	1,233
棚卸資産		41,880	54,755
その他の金融資産		7,821	1,829
その他の流動資産		3,588	5,224
小計		244,382	210,906
売却目的で保有する資産		44,519	—
流動資産合計		288,900	210,906
非流動資産			
有形固定資産		89,020	96,715
無形資産		4,251	5,260
使用権資産		8,877	10,187
のれん		16,184	18,390
投資不動産		2,162	2,105
持分法で会計処理されている投資		15,475	17,189
その他の金融資産		53,860	50,300
繰延税金資産		1,997	2,210
その他の非流動資産		992	1,283
非流動資産合計		192,818	203,639
資産合計		481,718	414,545

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		51,974	54,007
契約負債		5,704	8,132
借入金		14,690	19,210
その他の債務		10,776	16,868
未払法人所得税		19,788	1,407
引当金		1,206	1,551
リース負債		2,158	2,600
その他の金融負債		77,878	69
その他の流動負債		7,139	8,420
流動負債合計		191,315	112,266
非流動負債			
借入金		2,897	421
リース負債		7,575	8,507
退職給付に係る負債		9,079	9,190
繰延税金負債		13,922	15,287
その他の非流動負債		1,936	2,185
非流動負債合計		35,408	35,590
負債合計		226,723	147,856
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		14,961	15,003
利益剰余金		214,791	216,248
自己株式		△4,784	△4,646
その他の資本の構成要素		4,942	15,344
親会社の所有者に帰属する持分合計		239,910	251,950
非支配持分		15,084	14,740
資本合計		254,995	266,690
負債及び資本合計		481,718	414,545

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2	214,117	218,932
売上原価		△155,532	△165,392
売上総利益		58,585	53,540
その他の収益		866	881
販売費及び一般管理費		△38,318	△42,760
その他の費用		△324	△176
営業利益	2	20,808	11,484
金融収益		126,622	3,369
金融費用		△47,187	△157
持分法による投資利益		1,500	2,195
税引前四半期利益		101,743	16,892
法人所得税費用		△36,308	△4,889
四半期利益		65,435	12,003
四半期利益の帰属 親会社の所有者		63,078	10,622
非支配持分		2,357	1,381
四半期利益		65,435	12,003
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		518.71	88.52
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		518.61	88.51

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益		65,435	12,003
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		454	362
純損益に振り替えられることのない 項目合計		454	362
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		3,549	11,563
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		3,549	11,563
税引後その他の包括利益合計		4,003	11,925
四半期包括利益合計		69,438	23,928
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		66,310	21,254
非支配持分		3,128	2,674
四半期包括利益合計		69,438	23,928

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2021年1月1日残高		10,000	14,998	173,988	△2,471	△3,348	4,863
四半期利益		—	—	63,078	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	2,784	448
四半期包括利益合計		—	—	63,078	—	2,784	448
自己株式の取得及び処分等		—	—	△23	△20,706	—	—
自己株式の消却		—	—	△18,394	18,394	—	—
配当金		—	—	△8,800	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	1,833	—	—	△1,833
株式報酬取引		—	△94	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△94	△25,385	△2,311	—	△1,833
2021年9月30日残高		10,000	14,904	211,682	△4,782	△564	3,478

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2021年1月1日残高		—	1,515	198,031	13,610	211,641
四半期利益		—	—	63,078	2,357	65,435
その他の包括利益		—	3,232	3,232	771	4,003
四半期包括利益合計		—	3,232	66,310	3,128	69,438
自己株式の取得及び処分等		—	—	△20,728	—	△20,728
自己株式の消却		—	—	—	—	—
配当金		—	—	△8,800	△2,883	△11,684
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	△1,833	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△94	—	△94
所有者との取引額等合計		—	△1,833	△29,623	△2,883	△32,506
2021年9月30日残高		—	2,914	234,718	13,855	248,572

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2022年1月1日残高		10,000	14,961	214,791	△4,784	1,874	3,069
四半期利益		—	—	10,622	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	10,277	355
四半期包括利益合計		—	—	10,622	—	10,277	355
自己株式の取得及び処分等		—	—	△10	138	—	—
配当金		—	—	△9,385	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	230	—	—	△230
株式報酬取引		—	42	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	42	△9,165	138	—	△230
2022年9月30日残高		10,000	15,003	216,248	△4,646	12,150	3,194

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2022年1月1日残高		—	4,942	239,910	15,084	254,995
四半期利益		—	—	10,622	1,381	12,003
その他の包括利益		—	10,632	10,632	1,293	11,925
四半期包括利益合計		—	10,632	21,254	2,674	23,928
自己株式の取得及び処分等		—	—	128	—	128
配当金		—	—	△9,385	△3,018	△12,403
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	△230	—	—	—
株式報酬取引		—	—	42	—	42
所有者との取引額等合計		—	△230	△9,215	△3,018	△12,233
2022年9月30日残高		—	15,344	251,950	14,740	266,690

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポーネント	トランスポート	アクセシビリティ	計				
売上高								
外部売上高	100,198	47,869	52,913	200,980	13,137	214,117	—	214,117
セグメント間売上高	1,849	853	2	2,705	295	3,000	△3,000	—
売上高合計	102,047	48,722	52,915	203,684	13,432	217,116	△3,000	214,117
セグメント利益 (営業利益)	16,703	3,728	5,193	25,625	1,801	27,425	△6,617	20,808
金融収益				—				126,622
金融費用				—				△47,187
持分法による投資利益				—				1,500
税引前四半期利益				—				101,743

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	101,520	48,360	57,159	207,039	11,892	218,932	—	218,932
セグメント間売上高	1,903	1,058	2	2,963	217	3,180	△3,180	—
売上高合計	103,423	49,418	57,161	210,002	12,109	222,112	△3,180	218,932
セグメント利益 (営業利益)	11,290	3,823	2,136	17,250	565	17,815	△6,331	11,484
金融収益				—				3,369
金融費用				—				△157
持分法による投資利益				—				2,195
税引前四半期利益				—				16,892

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

3. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第3四半期連結会計期間末 (2021年9月30日)		当第3四半期連結会計期間末 (2022年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	36,132	25.8	46,363	27.1
トランスポートソリューション事業	52,000	37.2	62,858	36.8
アクセシビリティソリューション事業	41,400	29.6	49,403	28.9
その他	10,406	7.4	12,213	7.2
合計	139,937	100.0	170,838	100.0